

川越市国民健康保険赤字解消・削減計画進行管理表【令和3年度】

資料12

| 赤字解消・削減施策 | | 指標 | 令和3年度に実施した 具体的施策の内容 | H28年度 (2016年度) | H29年度 (2017年度) | H30年度 (2018年度) | R元年度 (2019年度) | R2年度 (2020年度) | R3年度 (2021年度) | | |
|-------------------|-----------------------------|---------------------------------------|---|-------------------|-------------------|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------|---------------------------------|----------------------------|
| 対策 | 事業 | | | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 実績 | 削減金額 |
| ①「健康経営」及び医療費適正化対策 | -1 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施 | 新規人工透析移行者数減少率(平成28年度実績比) | 埼玉県、国保連、市町村の共同事業である「生活習慣病重症化予防対策事業」に参加し、糖尿病性腎症の重症化を予防し、人工透析への移行を防止するための相談事業を委託により実施。事業修了者に対して手紙を出しフォロー実施。 | 85人 | 91人 | 1%増加 86人 △5000,000円 | 10.59%減少 76人 50,000,000円 | 25.88%減少 63人 | 4%減少 | 27.06%減少 62人 | 115,000千円 |
| | -2 特定健康診査と個別のがん検診と同時受診の体制強化 | 特定健康診査受診対象者のうち特定健康診査と胃がん検診の双方を受診した者の率 | 個別胃がん検診と特定健診の同時受診しやすい体制を整え、周知を図った。(数値は、特定健診対象者が特定健診と個別胃がん検診(内視鏡及びX線検査)を受診した割合) | 9.00% | 8.78% | 8.02% 2,399,400円 | 7.44% 2,120,400円 | 4.61% 1,339,200円 | 9.64% | 6.63% (同日、同医療機関のみの受診だと5.13%) | 1,841,400円 (1,450,800円) |
| | -3 ときも健康プロジェクトの推進 | プロジェクトの開催回数 | 会議の開催については、新型コロナウイルス感染症のまん延により、中止となったが、コロナ禍における事業の実施方法や、感染防止対策等について、各課でそれぞれ情報交換を実施した。 | - | 4回/年 | 5回/年 | 5回/年 | 1回/年 | 7回/年 | 0回/年 | - |
| | -4 スポーツや運動関連の情報提供 | 教室・イベントの紹介数 | コロナ禍で、各種運動教室や健康づくりイベントが中止となった。コロナ禍でも参加可能な健康づくり支援課の健康マイレージ事業については直営の特定保健指導参加者全員に資料を渡して参加を勧奨した。 | - | - | 5件/年 | 5件/年 | 1件/年 | 3件/年 | 1件/年 | - |
| | -5 関係機関との連携 | 医療機関向けアンケートの実施及び集約した意見をもとに内容の改善の回数 | 令和2年度末に健診実施医療機関にアンケートを行い、コロナ禍での健診受診状況等を確認した。結果は令和3年度の健診受診勧奨、医師会への情報提供資料に反映させ、12月に「主な保健事業の実施状況」として、健診実施医療機関に送付した。 | - | - | 医療機関にアンケート実施済(H31.1) | 1回/年 | 1回/年 | 1回/年 | 1回/年 | - |
| | -6 地域包括ケアの推進 | 地域包括支援センターが開催する地域ケア会議等での情報提供回数 | 特定健診の地区別受診率が一番低い高階地区について「みんなで健診を受けようプロジェクト」を立ち上げ、地域包括支援センターを含む地区の様々な組織に対し、特定健診受診・特定保健指導利用の呼びかけを依頼した。また、KDBシステムを活用した地区の健康情報データを提供した。 | - | - | 5回/年 | 6回/年 | 1回/年 | 9回/年 | 1回/年 | - |
| | -7 経営改善の方策 | 保険給付費等交付金特別交付金(保険者努力支援制度)の交付金額 | 各種保健事業や医療費適正化施策、収納率向上対策等に係る事業を実施し、交付金の獲得に努めた。 | 44,034千円 | 70,610千円 | 314,088千円 | 293,778千円 | 300,531千円 | 320,000千円 | 300,898千円 | △13,190,971円 |
| | -8 健康長寿埼玉プロジェクトの推進 | 事業への新規参加者数 | 埼玉県コバトン健康マイレージ事業について、特定保健指導の際に、参加を呼び掛けた。(令和3年度新規申込数1,188人(うち国保260人)、事業参加者総数5,658人(うち国保1,362人)) | - | 1,243名 | 971名 (国保382名) 3,272,976円 | 1,198名 (国保381名) 14,122,908円 | 1,156名 (国保385名) 15,915,000円 | 1,000名 | 1,188名 (国保260名) | 10,748,400円 |
| | -9 健康メッセージ事業 | 応募作品数 | 小学生から両親、祖父母等大切な家族がいつでも健康であるために健診を受けるよう、メッセージを送る。(優秀作品を選び、特定健診受診率向上等に役立てる。) ⇒コロナの蔓延等により、事業を一旦中止。 | | | | 101作品 | 77作品 | - | - | - |
| | -10 他の医療保険者との共同事業の実施 | 実施回数 | ・後期高齢者医療保険、健康管理課、協会けんぽ、国保組合(土建、建設)と協力し健診受診勧奨の共同啓発チラシを製作し配布。 ・後期高齢者医療保険と協力し残業対策事業を実施。 | | | | 2回/年 | 2回/年 | - | 2回/年 | - |

川越市国民健康保険赤字解消・削減計画進行管理表【令和3年度】

資料12

| 赤字解消・削減施策 | | 指 標 | 令和3年度に実施した 具体的施策の内容 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | | |
|------------|-----------------------------|-----------------------------------|---|----------------------|----------------------|----------------------------------|----------------------|----------------------|----------|--|-------------------|
| 対策 | 事業 | | | (2016年度) | (2017年度) | (2018年度) | (2019年度) | (2020年度) | (2021年度) | 目標値 | 実績 |
| | | | | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | | | |
| ② 保健事業 | -1 「保健事業等実施計画（データヘルス計画）」の推進 | データヘルス計画の評価結果による事業実施数（新規事業含む） | 「保健事業等実施計画（データヘルス計画）」（第2期保健事業実施計画）について、記載された保健事業を実施した。 | — | — | 8事業 | 13事業 | 13事業 | 13事業以上 | 13事業 | — |
| | -2 特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の向上 | 特定健康診査受診率 | 特定健診受診率向上に向け、未受診者に対する受診勧奨及びその際に人間ドック等への助成及び診療情報提供事業について啓発を実施した。（8月に47,000通、10月に13,064通送付） | 40.7% | 41.4% | 41.6% （R1.6.26現在） | 41.6% （R2.6.26現在） | 33.8% （R3.6.25現在） | 48% | 37.8% （R4.6.27現在） | — |
| ③ 医療費適正化対策 | -1 レセプト点検強化 | レセプト点検（内容点検）の効果率→レセプト内容点検による減額査定額 | 業務委託によりAIを活用したレセプト点検を行っている。効率的な点検が行われるように、再審査結果を分析し、以降の点検に活用している。 | 0.10%→ 4,222,232円 | 0.10%→ 2,950,000円 | 0.12%→ 6,986,308円 | 0.09% 5,665,637円 | 0.11% 5,594,035円 | 0.12% | 0.17% 7,020,533円 | 2,798,301円 |
| | -2 療養費支給の適正化 | 療養費支給申請書の返戻件数 | 柔道整復施術療養費について、多日数、多部位、長期受診等の単月点検及び縦覧点検を行っている。昨年度同様、3回実施。 | — | — | 339件 | 396件 3,421,731円 | 382件 6,988,139円 | 360件 | 429件 | 2,581,676円 |
| | -3 ジェネリック医薬品の使用促進 | ジェネリック医薬品使用割合 | ジェネリック医薬品希望シールの配布、利用差額通知の実施、市ホームページ、ツイッター、納税通知書の封筒での啓発等により周知を行った。 | 69.4% | 72.8% | 77.9% （数量シェア 平成30年度 平均） | <u>79.1%</u> | <u>81.2%</u> | 82.0% | <u>81.8%</u> | 398,822円 |
| | -4 第三者求償の取組み | 求償件数 | 第三者特記事項が付いているレセプトについて、医療機関への確認を行うとともに、傷病名より第三者行為の疑いがあると思われるものについて、被保険者に文書照会を実施。保険会社が判明している案件は、被害者ではなく保険会社に書類提出を求め、届出日数の短縮に努めた。また、保険会社が介入しているが被害届が未届の案件について早期提出を求めた。 | 39件 | 49件 | 38件 | 54件 | 43件 | 73件 | 58件 63,031,615円 （第三者行為に伴う損害賠償金 収入額） | — |
| | -5 不当利得返還金の取組み | 収入率 | 保険者間調整を進めるにあたり、被保険者の同意が必要となることから、督促状、催告書に保険者間調整の案内文書を同封したほか、電話催告や保険者間調整のみの案内文書を送付することで、同意書の提出を促すことに努めた。 | 45.38% | 65.77% | 68.74% | 66.20% | 68.79% | 67% | 60.31% | 7,832,123円 |
| | -6 医療費通知の取組み | 評価項目（年度により変更あり）を全項目を満たしている率 | 評価項目を満たした内容で、6月、8月、10月、12月、2月、3月の計6回通知発送した。 | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | — |
| | -7 残薬問題に関する対策（R2新規） | 相談者数 | 令和2年度（11月～R3.3月）、27協力薬局により実施後、継続して22薬局にて、令和4年1月まで事業を実施。77人参加。 | | | | 24人 | 55人 | 100人 | 77人 | — |
| | -8 重複受診、頻回受診及び重複服薬（R2新規） | 通知件数 | 国保連の「重複服薬・多剤投与に関する対象者リスト」より、複数の医療機関から同一薬効のある医薬品が、または、15種類/月以上の医薬品が3カ月以上連続して処方されているものに対して、啓発の通知を発送した。 | | | | | 256人 | — | 194人 | — |

川越市国民健康保険赤字解消・削減計画進行管理表【令和3年度】

資料12

| 赤字解消・削減施策 | | 指標 | 令和3年度に実施した 具体的施策の内容 | H28年度 (2016年度) | H29年度 (2017年度) | H30年度 (2018年度) | R元年度 (2019年度) | R2年度 (2020年度) | R3年度 (2021年度) | | |
|--|-------------------------|--|---|-------------------|-------------------|------------------------------|------------------------------|--------------------------|-----------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 対策 | 事業 | | | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 実績 | 削減金額 |
| 設 定 2 の 見 直 し 税 | ①保険税設定の見直しに向けた検討 | 川越市国民健康保険運営協議会における保険税設定に係る会議開催回数 | 運営協議会にて前年度決算、翌年度予算についてご審議いただき、本市国保の財政状況へのご理解をいただいた。 | — | — | 5回/年 | 3回/年 | 5回/年 | 1回/年 | 4回/年 | — |
| | ②保険税の改定を実施 | 赤字削減額(令和元年度、3年度及び5年度に各3億円) | 国民健康保険税条例の一部改正を行い、令和3年度から保険税率等を改定した。 | — | — | 令和元年度 保険税を改定 | 310,484千円 | 令和3年度保 険税を改定 | 3億円 | 282,340千円 | 282,340千円 (計592,814千 円) |
| (3) 収 納 率 向 上 対 策 | ①口座振替の推進 | 3月期の口座振替加入率(口振世帯数/国保世帯数) | 当初課税時、納税通知書に口座振替依頼書の返信用封筒を同封するとともに、新たに、国民健康保険課窓口での加入の届出時に、口座振替依頼書の手渡しを実施した。 | 28.31% | 28.24% | 28.93% | 27.97% | 27.96% | 29.49% | 28.62% | — |
| | ②(R3~)一斉催告による納付勧奨 | (R3~)催告回数 | 現年催告及び全件催告を実施した。 | 29.0% | 26.5% | 26.8% | 28.2% | 28.1% | 7回/年 | 7回/年 | — |
| | ③現年課税分未納者に対する早期の差押えの実施 | — | 20万円以上の現年滞納事案について、11月から財産調査を実施し、翌年1月から差押えを実施した。 | — | — | 8件 (3,338,930円) 他税目を含む | 7件 (1,622,195円) 他税目を含む | 26件 (8,743,886円) | 早期完結を図る | 22件 (6,888,300円) | — |
| | ④徴収困難事案の処分停止による収入未済額の圧縮 | 地区担当者毎に抽出した高額滞納事案上位300件の滞納整理率の課全体平均値-(R3~)滞納額全体に対する滞納整理率 | 適切な執行停止を推進した。 | — | — | 37.3% (645,965,233) | 41.5% (498,585,727円) | 54.35% (544,257,823円) | 45% | 50.11% (344,116,648円) | — |
| | ⑤新たな納付手法の導入 | — | スマートフォンによるアプリ決裁サービスについて、対象ブランドを拡大した。 | — | — | 開発 | 開発 | スマートフォンのアプリ決済サービスの導入 | スマートフォンアプリ決済対象ブランドの拡大 | スマートフォンアプリ決済対象ブランドの拡大(6ブランド) | — |
| | ⑥短期被保険者証・資格証明書の活用 | 短期被保険者証・資格証明書の新規発行世帯数 | 短期被保険者証・資格証明書の候補世帯の選定、納付状況の確認、予告書の通知等を行ったうえ、新規発行を行った。 | 104世帯 | 42世帯 | 60世帯 | 72世帯 (短期63 資格9) | 130世帯 (短期100 資格30) | 80世帯 | 111世帯 (短期100 資格11) | — |
| | ⑦資格の適正化 | 国保資格の適用適正化調査項目数(3項目:二重加入、居所不明、擬制世帯、4項目:上記+無保険調査) | 二重加入調査、居所不明調査、擬制世帯の調査を引き続き実施したうえ、新たに無保険調査を実施した。 | 3項目 | 3項目 | 4項目 | 4項目 | 4項目 | 4項目 | 4項目 | — |

削減金額合計表

①単年度(令和3年度分)

単位：円

| 対策 | 計画での赤字削減額 (令和3年度) | 削減金額 | 差 |
|---------------------|----------------------|-------------|--------------|
| (1)「健康経営」及び医療費適正化対策 | 0 | -1,976,270 | △ 1,976,270 |
| (2)保険税設定の見直し | 300,000,000 | 282,340,000 | △ 17,660,000 |
| (3)収納率向上対策 | 9,000,000 | 82,157,000 | 73,157,000 |
| 合計 | 309,000,000 | 362,520,730 | 53,520,730 |

令和4年3月31日時点

②積算(平成30年度～令和3年度分)

単位：円

| 対策 | 計画での赤字削減額 (H30年度～R3年度) | 削減金額 | 差 |
|---------------------|---------------------------|-------------|-------------|
| (1)「健康経営」及び医療費適正化対策 | 70,000,000 | 128,009,751 | 58,009,751 |
| (2)保険税設定の見直し | 600,000,000 | 592,823,659 | △ 7,176,341 |
| (3)収納率向上対策 | 85,000,000 | 175,769,000 | 90,769,000 |
| 合計 | 755,000,000 | 896,602,410 | 141,602,410 |

令和4年3月31日時点